

岩手大学 地域連携推進センター 低温室



岩手大学の寒剤供給は昭和46年に窒素液化装置とヘリウム冷凍機（極低温発生装置室）を導入したのが始まりである。昭和53年にヘリウムガス回収設備を導入し、ヘリウムガス回収を開始した。その後平成6年にヘリウム液化装置PSI1410を導入し、液体ヘリウムの液化供給を開始した。回収設備の老朽化と貯蔵能力の低さを改善するため平成7年度に回収コンプレッサーと長尺ガスポンペが導入された。

現在は地域連携推進センター機器活用部門低温室として、超伝導マグネットやSQUID等への供給を行っている。



回収ガスバック



He 回収用圧縮機



He 回収用長尺ポンペ

ヘリウム液化機(平成5年度) PSI1410 39ℓ/h
 液化用圧縮機 RSJ 325Nm³/h, 17.5kg/cm²
 ヘリウム貯槽 500L
 回収用圧縮機(平成7年度) YS-85V 30Nm³/h, 150kg/cm²
 回収用ガスバック 15m³

処理能力
 ヘリウム液化機 PSI1410 655.46Nm³/日
 ヘリウム液化用圧縮機 PSI RSJ 6953.49Nm³/日
 ヘリウム回収圧縮機 YS-85V 1145Nm³/日
 貯槽能力 725.2m³

<http://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/>

〒020-8551 盛岡市上田4-3-5
 岩手大学地域連携推進センター 機器活用部門 低温室